

陳情第 5 号

陳 情 書



2025 年 5 月 2 8 日

霧島市議会議長
仮屋 国治 様

陳情者 鹿児島県教職員組合
始良伊佐地区支部霧島地区協議会
議 長 中 亨
副議長 藤元 綾乃
書記長 池上 孝子
住所 霧島市隼人町

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情について

＜陳情趣旨・理由＞

今、学校現場では、小・中・高を合わせると 41 万人を超える不登校の子どもの数(23 年度)が文科省調査で明らかになっています。とりわけ小・中学校では 11 年連続で増加し、過去最多となっています。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減することが強く求められます。

つきましては、下記事項が実現されるよう、地方自治法第 99 条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出を陳情いたします。

記

1. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善にむけて、学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減すること。

意見書 第〇〇号

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

財務大臣

総務大臣

文部科学大臣

霧島市議会議長 仮屋 国治

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

今、学校現場では、小・中・高を合わせると 41 万人を超える不登校の子どもの数(23 年度)が文科省調査で明らかになっています。とりわけ小・中学校では 11 年連続で増加し、過去最多となっています。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減することが強く求められます。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善にむけて、学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減すること。